

# マグネシウム合金鑄造分野の最新動向

実用金属の中で最軽量材料であるマグネシウム。自動車分野や3C（ノートパソコン、デジタルカメラ、携帯電話など）分野を中心にその用途が拡大していますが、国内における2017年の構造材向け需要を見ると、マグネシウム製品の約84%が「鑄造」で製造されています。そこで今回は、マグネシウム合金の鑄造に焦点を当て、ダイカスト・チクソモールド・低圧鑄造の製造技術と共に、合金開発や製品化事例についての最新動向を紹介する講演会を開催することといたしました。この機会に是非ご参加ください。

**日時** 平成 30 年 11 月 22 日(木) 10:00~16:30

**場所** 京橋プラザ区民館 1 号室（東京都中央区銀座 1-25-3）

**参加費** 会員：20,000 円、一般：30,000 円（税込） **定員** 35 名

**協賛(予定)** (一社)軽金属学会、(一社)塑性加工学会、(公社)日本鑄造工学会、(一社)軽金属溶接協会、(一財)素形材センター、(一社)日本アルミニウム協会、(一社)日本ダイカスト協会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本チタン協会、(一社)日本機械学会  
※協賛団体会員の参加費は会員価格です。

## < プログラム >

10:00~	開会（挨拶：日本マグネシウム協会）		
10:10~	①熱伝導特性を伴った耐熱マグネシウム鑄造合金設計	(株)本田技術研究所	家永 裕一 殿
11:00~	②マグネシウム合金ダイカストによる車両部品の軽量化	リョービ(株)	大村 博幸 殿
11:50~	休憩（60分）		
12:50~	③マグネシウム合金の砂型低圧鑄造	(株)神戸製鋼所	浅川 亮史 殿
13:40~	④チクソモールドの量産適用事例と今後の展望	(株)日本製鋼所	豊島 敏雄 殿
14:30~	休憩（20分）		
14:50~	⑤鑄造品のクオリティ向上のために～原料メーカーからのアプローチ(高強度・高熱伝導率・耐食性向上)	(株)STU	橋本 嘉昭 殿
15:40~	⑥ダイカストおよび砂型重力鑄造用合金の研究開発動向と今後の課題	富山大学	才川 清二 殿

■申込■ 下記より FAX またはメールでお申込みください。

一般社団法人日本マグネシウム協会 事務局行き

FAX：03-3243-0285 / E-mail：office@magnesium.or.jp

平成 30 年度第 5 回技術講演会「マグネシウム合金鑄造分野の最新動向」参加申込書（30.11.22）

氏名	1	会社名・所属	1
	2		2
住所	〒		
連絡先	Tel：		Fax：
	E-mail：		
区分（該当するものに○印）：日本マグネシウム協会会員 ・ 一般 ・ 協賛団体会員			

※：申込後に受講票・請求書を送付いたしますので講演会前日までにお振り込みください。  
※：問合せ：(一社)日本マグネシウム協会 事務局 平野・駒井 Tel03-3243-0280



【会場地図】

■住所：東京都中央区銀座1-25-3

■アクセス：JR東京駅・有楽町駅 徒歩15分、東京メトロ銀座線京橋駅2番出口 徒歩6分、都営地下鉄浅草線宝町駅A1出口 徒歩3分  
日本マグネシウム協会事務所から 徒歩10分

